

空と緑 新、呼吸する

報 幸 廣

# たまかわ

'94  
9  
No. 336



輝く栄光の  
金ばれん  
玉川村消防団  
の手に!!

第29回県消防操法競技大会の小型動力ポンプの部で、四連分団チームが優勝。村で初めての全国大会出場という栄冠を獲得しました。栄えある金ばれんを手にしたメンバーは、村内を祝賀パレードして村民に

優勝を報告。「支援してくださった皆さんのおかげです。全国大会でも頑張ります」と、選手らはフアイトを飛ばし!









### 自分たちで計画をたて 行動したことは 貴重な体験

—小樽市内—

鈴木 崇夫 (泉 中)

僕たちが楽しみにしていた小樽市内の班ごとの見学は、とても印象的だった。地図を片手に市内を歩き、目的の店などが見つかったときのうれしさは、何ともいえない。

小樽の運河は、道路を広くするために、運河の幅を20メートルあったものを10メートルに減らしたそうです。レンガが敷き詰められてきれいだった。昼食をとり、いよいよ班ごとの行動。



で輝いているように感じた。おみやげを買い、次に「ウエネチア美術館」へむかった。「北一ガラス」とは違った高級な雰囲気だった。ガラス製品の値段のすごさにも驚かされた。自分たちで計画をたてた所を自分たちで歩くことが経験できたことは貴重であり、思い出として強く心に残りました。

「北海道開拓の村」の外見は旧札幌駅で、赤い屋根の洋風でした。その中に期待と好奇心をかかえ入っていくと、そこにはレンガ造りの旧小樽新聞社や、瓦でできたお寺。旧北海道中学校がありました。学校の中には、薄い紙でできた教科書があり、歴史の重さを感じられました。



### 北海道の歴史は偉大な開拓の歴史

—北海道開拓の村—

石森 真吾 (須釜中)

旧小樽新聞社には、鉄の印刷機があり、僕たちもスタンプをしてもらいました。旧小樽新聞社を出て、最初に目に入ったのが一頭の馬が引く馬車です。その風景を見たとき、自然な気持ちになれました。また、「開拓の村」の奥の方には、漁師の家がありました。中には、入らなかつたものの、外から見ても広いというのがわかりました。当時の生活を知ることができました。

今回の北海道研修旅行で一番楽しみだったのが、札幌市内散策でした。グループごとに自分たちのコースを決めることもできました。私たちはまず旧道庁、時計台、植物園などを見学しました。札幌は歴史がいつばいの都市でした。時計台は一八七八年に、旧道庁は、一八八八年に建てられたそうですが、まだ新しい建物のように見え、当時の人がしっかりと造ったということがわかりました。



### 木々の緑や花が都会の美しさを引き立たせていた

—札幌市内—

塩沢 友里 (須釜中)

職業でもあるスチューワーデスさんにもあえました。英語は話せるし、優しいし、きれいな人でした。この北海道研修では、たくさんを経験をしました。フエリーや飛行機にも乗ったし、この3日間の感動は、いつまでも忘れないでしょう。良い思い出をありがとうございました。



### 身近に空港があることの便利さを 実感

—空港・飛行機—

矢部 崇子 (泉 中)

最初は雲の上の世界でした。初めて飛行機に乗り、初めて空から見る景色は、ファンタジックそのものです。雲には飛行機の影が映り、海を走る船は米粒くらいに小さく見えました。私は窓にくぎづけになったまま、ずっと外を見ていました。山は緑色で川は青色

北海道研修の帰り道は空でした。新千歳空港から、一時間ほどの飛行機体験でしたが、とてもよい経験になりました。新千歳空港は、ターミナルビルが、じっくりと見学できなかったのは残念でした。僕たちが乗った飛行機は「ANA364便」でした。滑走路から離陸するときは、とても気が

### 今度は福島空港から飛び立ちたい

—空港・飛行機—

塩沢 勝徳 (須釜中)

ルにガラスがたくさん使われており、とてもきれいだというのが第一印象でした。内部も福島空港以上に広々としていました。持ちがよかったです。機内では、軽く本を読んだり、ラジオを聞くことができました。また、窓からの眺めも最高でした。北海



平泉・中尊寺金色堂にて (須釜中2年1組)



札幌・羊ヶ丘展望台にて (須釜中2年2組)



札幌・羊ヶ丘展望台にて (泉中2年1組)



札幌・北海道開拓の村にて (泉中2年2組)



# 第29回福島県消防操法競技大会

広報たまかわ 平成6年9月

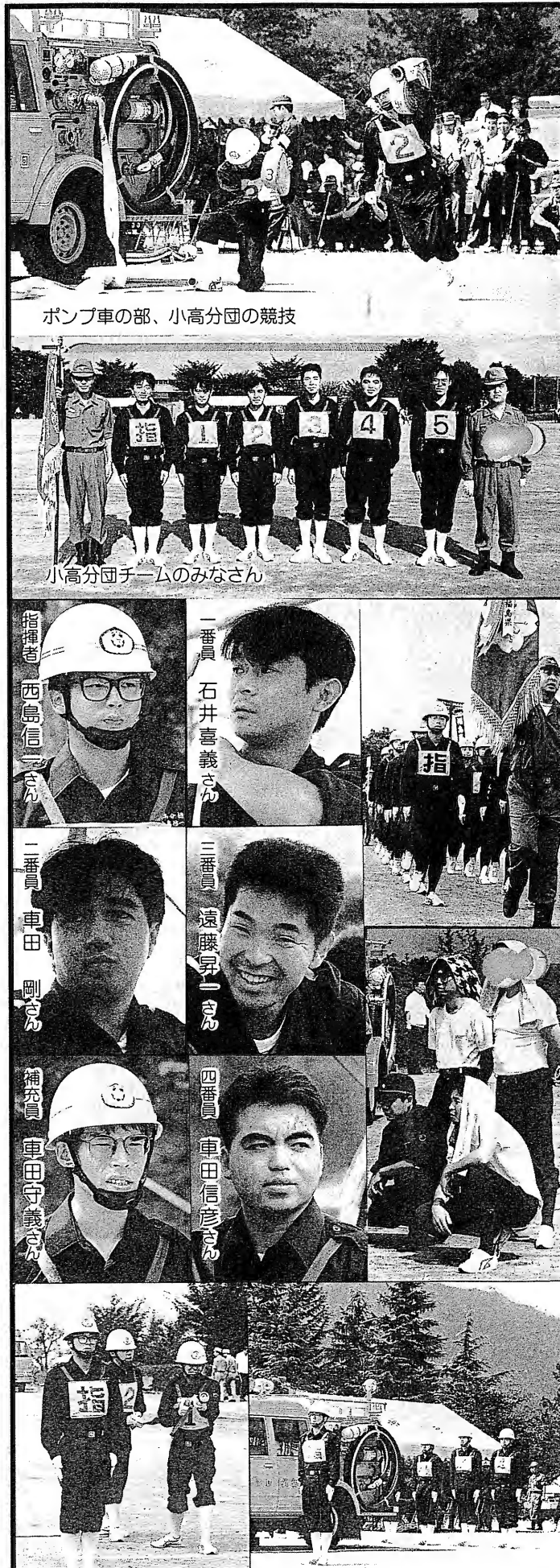
## 四辻分団堂々優勝!!

二年に一度消防技術の県下一を競う消防操法競技大会が、8月26日、福島市のあづま総合運動公園多目的広場で開かれました。県と県消防協会が主催し、今回で29回目を数える大会には、県内15支部で予選を勝ち抜いた30チーム、約100人が出場。村からは、石川支部代表として小高分団（消防ポンプ車の部）と、四辻分団（小型動力ポンプの部）の2チームが出場しました。選手たちは、きびしい暑さのなか競技を行い、指揮者の指示のもと、いかに速く、正確にホースを伸ばし放水態勢に入るかなどの技術を競っていました。その結果、消防ポンプ自動車部の部では船引町消防団、そして小型動力ポンプの部は、玉川村消防団（四辻分団）が、見事優勝に輝きました。

消防ポンプ自動車操法の部、目で、県内15地区から勝ち抜いた小型動力ポンプ操法の部の二種 精鋭、計30チームが出場して

開かれた大会には、車田村長をはじめ村消防団幹部や各分団長、婦人消防隊や小高、四辻両地区の役員や家族の方々がバスなどで応援にかけつけ、出場選手らの士気を盛りあげました。出場30チームの入場行進のあ

し、競技が開始されました。競技は、二種目同時に進められ、四辻分団（小型ポンプの部）がほぼ中間の6番目、小高分団（ポンプ自動車部の部）は最後の15番目に登場。うだるような暑さのなか、石川地区大会で優勝した技術を披露、応援席からはさかんに拍手や声援が送られていました。この結果、ポンプ自動車部の部で小高分団は、惜しくも入賞は



ポンプ車の部、小高分団の競技

小高分団チームのみなさん

1番員 石井浩和さん

指揮者 塩田忠雄さん

2番員 須田潤一さん

3番員 石井正光さん

入場行進

補充員 塩田徳男さん

優勝した四辻分団チームのみなさん

なりませんでしたが、その競技内容は上位入賞チームとくらべても、まったく引けをとらない優れた技術と評されていました。小型ポンプの部では、四辻分団が県下一の操法技術と認められ、堂々の優勝を飾りました。優勝した四辻分団は、10月13日に横浜市戸塚区で開かれる、4年に一度の全国大会に福島県代表（小型ポンプの部）1チームだけと

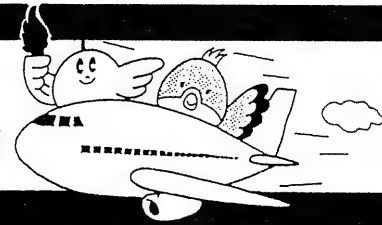
して出場する切符を手に入れました。石川支部大会で優勝を果たした県大会にそろって出場した小高、四辻の両分団チーム。記録的だったこの夏の暑さのなか、連日きびしい訓練を重ね、めざしてきた栄光への道。レベルが高いといわれる石川地区大会で、圧勝をおさめ県大会へのぞんだ小高分団チーム、入賞にあ

と一歩およびませんでした。その操法技術はトップレベルで、選手の方々の大健闘に心から拍手を送りたいと思います。そして、晴れて県下一となり

大会でも、ぜひチャレンジ精神を発揮し、優勝をめざして頑張ってください。ここから大きな声援を送りたいと思います。県大会の成績は次のとおり。消防ポンプ自動車部の部 ①船引町 ②鹿島町 ③白河市 ④天栄村 ⑤猪苗代町 ■小型動力ポンプの部 ①玉川村 ②会津若松市 ③大熊町 ④郡山市 ⑤須賀川市

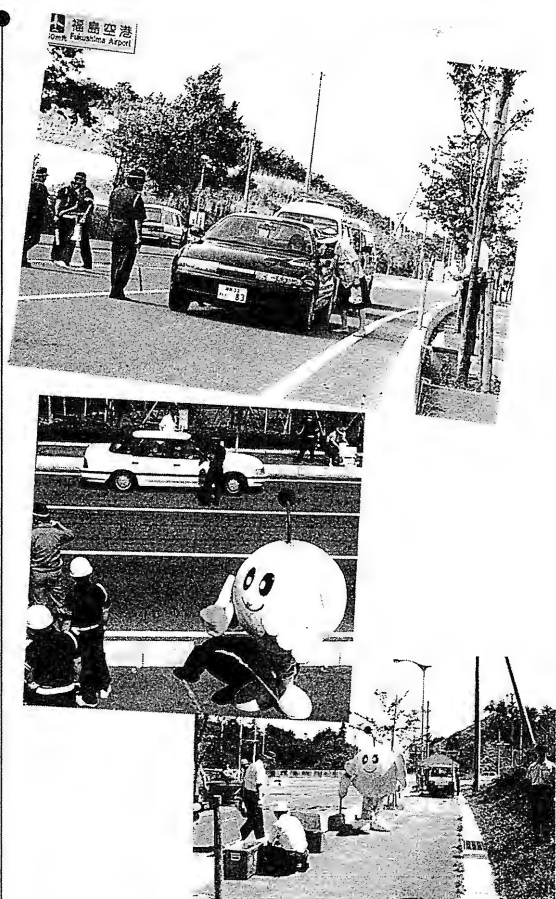
## 小高分団大健闘!!





空と緑、「新」呼吸する  
たまかわ  
炬火採火地 玉川村

シリーズ  
国体③



キビタン君もかつやく！  
「安全運転よろしくね」

8月10日に、福島空港前の交差点で交通安全イベント村作戦が行われ、付近を通行中のドライバーに安全運転をよびかけました。参加した村交通安全協会や母の会の会員、石川警察署員らは田谷多敬雄さん（南須釜 作成のミニわらじや冷たいジュースなどをくばって事故防止を訴えました。また、玉川村がふくしま国体の炬火採火地ということでも、今回も国体のマスコット「キビタン」君のぬいぐるみが登場し、交通事故防止とあわせて、ふくしま国体のPRにも一役かつていました。

### 交通安全イベント村作戦で ふくしま国体をPR

ふくしま国体  
9月15日現在  
秋季大会まで  
あと394日

### 保健 衛生

ぼくも、わたしも虫歯な～い



小針真人くん(信良・小高)



真弓沙紀ちゃん(正広・蒜生)



小針望美ちゃん(和之・北須釜)



小林昭範くん(和寿・竜崎)



岡部 一くん(三治・小高)

平成6年度第2回目の「よい歯のコンクール」表彰式が、7月29日(金)村保健センターで行われ、3歳児健康診査「歯科」で虫歯のなかった子ども、5名が表彰されました。  
よい歯をしているのは、次の子どもたちです。  
( )は保護者名と地区名

### 第2回よい歯のコンクール



楽しいプレー。川辺チーム対吉田チーム



電筒チームの攻撃。応援も真剣



いいですね、この見のかし方。四辻チーム



念願の優勝



北須釜チーム 鈴木玲子

# 熱闘!! 少年球技大会



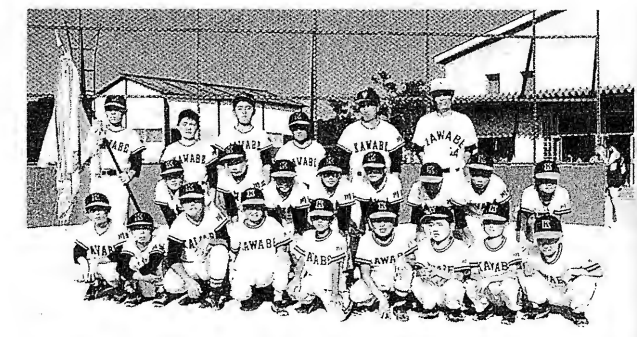
この大会は、玉川村青少年育成村民会議が主催し、村内の児童がスポーツをとおして健全な心身をつくり、子供たち同士の交流をはかるため毎年開かれています。



(ミニバスケットボール優勝北須釜チーム)

政区から男子のソフトボールに10チーム、女子のミニバスケットボールに10チーム、30人の選手が出場。子供たちは、父母らの声援を受けながら、真夏の太陽がキラキラと照りつける猛暑のなか、文字どおりの熱闘を展開し、ソフトボールは川辺チームが5年ぶりに優勝、ミニバスケットボールは北須釜チームが初優勝しました。

- 入賞チームは 次のとおり
- 男子ソフトボール
    - 優勝 川 辺チーム
    - 準優勝 小 高チーム
    - 第三位 北須釜チーム
    - 南須釜チーム
    - 四辻新田チーム
    - (敗者復活優勝)
  - 女子ミニバスケットボール
    - 優勝 北須釜チーム
    - 準優勝 川 辺チーム
    - 第三位 吉 田チーム
    - 蒜 生チーム
    - 小 高チーム
    - (敗者復活優勝)

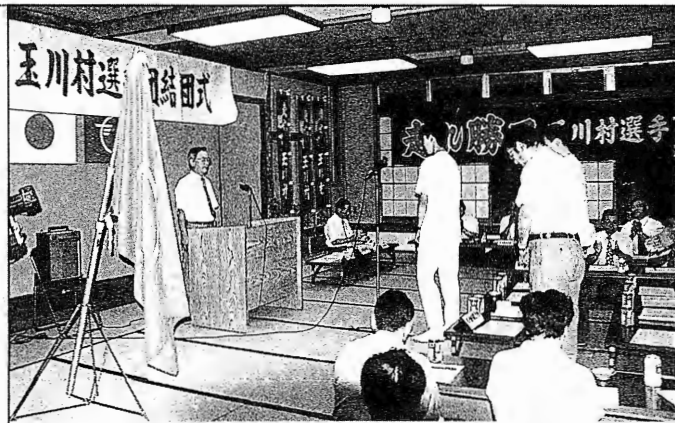


ソフトボール優勝川辺チーム

みんなのおかげで優勝  
川辺チーム 須藤公平  
ほくたちは6月から、優勝をめざし練習を始めました。  
練習は大会が近づくと監督やコーチが入り、おこられる回数が多くなりましても、みんな文句も言わないでがんばりました。そして大会の日、ほくは会場の外小に入ると、緊張感でいっぱいになりました。普段の練習ができるかどうか不安になってきました。一試合、二試合目と、1ラウンドで勝ちました。そして勢いにのって勝利。決勝では小高チームと対戦し、6でほくたち川辺チームが勝ち、念願の勝利。最高にうれしくて、みんなで泣いてしまいました。監督やコーチに教えてもらったおかげです。みんなありがとうごさいました。

## 川辺が5年振り、北須釜は初のV





### 上位入賞めざし、がんばります！

ふくしま駅伝玉川村選手団結団式

8/18

11月20日に開催される第6回市町村対抗県縦断駅伝競争大会（ふくしま駅伝）に出場する玉川村チームの結団式が就業改善センターで行われました。

式には選手をはじめ村実行委員、本部役員など関係者ら80人が出席、選手一人一人が紹介されたあと、本部長の車田村長から団旗が岩谷唯義キャプテン（中）に手渡されました。

車田本部長が「今回で4回目の参加、成績は回を追うごとに上向いている。さらにいい成績が期待できます。がんばってください」と激励。これにこたえて岩谷キャプテンが「前回を上回る成績をめざし、選手一丸となってがんばります」と力強く健闘を誓いました。

玉川村チームは昨年の大会では村の部13位の成績でした。



玉川村の産品をPR

福島市の福島競馬場で、94ふくしまビッグフェアが開かれ、今回も玉川村が出席しました。市町村コーナーに設けられた出展テント内に、さるなしワインや乾めん、農協から出品されたトマト、きゅうりなどの村の産品、それに台湾・鹿谷郷から輸入したウーロン茶も並べられ、雨のなか訪れた人たちが買い求めていました。この福島テレビ主催のビッグフェアには、玉川村ふるさと物産振興委員会（野崎一幸会長）が中心となり、今回で4回目の参加となります。

### おいしいモモをありがとう

地元のモモ販売を記念して園児らに

8/30

北須釜の福島空港観光果樹生産組合（佐久間安直組合長）は、3年前から栽培してきたモモの今夏からの販売開始を記念して、須釜児童館とすがま幼稚園の子どもたちにもぎたてのモモ（川中島）をプレゼントしました。佐久間組合長らは、子どもたちに玉川産モモについてわかりやすく説明したあと、一人ひとりにモモを手渡しました。同果樹生産組合（3世帯）はモモづくり初挑戦。村営農推進協議会の鈴木正安さんの指導で空港の東側一・四ヘクタールに栽培、今後観光果樹園などを展開し、空港フルーツラインづくりを目指しています。



「どうもありがとう」須釜児童館にて



モモのプレゼントに大喜びのすがま幼稚園



### ふくしまビッグフェアに

参加

8/19

8/21



### ちびっこのど自慢大会

8/13



玉川の夏の風物詩、玉川夏まつりが今年も役場前駐車で開催され、家族連れやお盆の帰省客、夏休み中の子供たちでにぎわいました。待ちに待った夏まつりに子供たちはおよろこび。かき氷を食べながら、金魚すくいやスイカ割り大会、スリッパ飛ばし大会をして「チビっ子カラオケ大会」など、年に一度のチビっ子天国を元気にいっぱい楽しんでいました。また、夜には花火が打ち上げられ、大勢の見物客は夏の夜空をこがす音と光の競演に、酔いしれていました。

今日はお祭り 何を買おうかな！

玉川夏まつり＆玉川花火大会



### 矢部勇太郎さんに勲六等瑞宝章

功績たたえ高齢者叙勲・伝達式

8/2

元玉川村議会副議長の矢部勇太郎さん（88歳・川辺）の村政発展につくした功績をたたえる高齢者叙勲・勲六等瑞宝章の伝達式が自宅で行われました。

矢部さんは昭和31年3月、村合併後初の村議選で当選し、同43年3月まで連続3期12年間、村議として活躍。この間、副議長、各委員長を歴任し、北須釜地内の集団桑園21ヘクタール（現在は空港用地）の造成事業、農業構造改善事業などを推進。村発展に向け数々の功績を残しました。

宍戸正照県中振興局長から叙勲の伝達を受けた矢部さんは「お世話になった皆さんのおかげ。感謝の気持ちでいっぱいです」と喜びを語っていました。



### 南東部(みなみとうぶ)チーム初優勝！

玉川村長杯ゲートボール大会

8/10

第5回玉川村長杯ゲートボール大会が、村民グラウンドで行われました。

大会には村内から28チームが参加し、真夏の太陽が照りつけるなか、午後4時過ぎまで熱戦を展開。その結果、南東部チームが本大会初優勝に輝きました。

入賞チームは次のとおりです。

- \*優勝 南東部チーム
- \*準優勝 北須釜Bチーム
- \*第3位 川辺Aチーム

【南東部チームのメンバーは次の5名です。佐久間源治さん、ハナ子さん御夫妻(小半弓)塩田豊次郎さん、タキヨさん御夫妻(四辻新田)大野キヨ子さん(小半弓)】



# 9月10月の健康ごよみ

- 9月
- 21日(休) 母親教室.....(保) 園  
午前9時15分～9時30分
  - 育児教室.....(保) 園  
午後1時15分～1時30分
  - 22日(休) 機能訓練.....(保) 園  
午後1時30分～
  - 24日(出) 健康講演会.....(保) 園  
午後1時30分～  
『更年期の過ごし方』 富田 健医師
- 10月
- 13日(休) 機能訓練.....(保) 園  
午後1時30分～
  - 14日(金) 乳児健診.....(保) 園  
午後1時～1時30分
- (保)：保健センター  
(園)：受付

## 寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 記
- 小高の車田幹夫さんから 3万円
  - 中の小針 凡さんから 3万円
  - 北須釜の鈴木一雄さんから 2万円
  - 東京玉川会から(第4回目分として) 4千円

(村社会福祉協議会)

## 伝言板

### 第34回村民体育祭 10月2日(日)

▶時間 AM8:30開会  
▶場所 村民グラウンド

小さいお子さんから年寄りの方までの種目があります。みなさんぜひご参加ください!

(雨天の場合、10月9日(日))



## お誕生おめでとう ございます

(8月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川 辺	小針 梓	利 男
中	小針 葵	周 吉
〃	藁 粥リナ	雅 一
竜 崎	小林 史弥	雅 之
南須釜	大野 純	直 寛
山小屋	石森 直喜	峰 夫
〃	瀧口 葵	政 広

## おくやみ申し上げます

(8月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
小 高	車田ヨシノ	91	文 雄 (7月分)
〃	車田 マツ	85	幹 夫
中	小針 孝一	65	ミサヲ
南須釜	塩澤 正壽	70	孝 子
北須釜	鈴木 千代	85	一 雄
〃	関根ヲコウ	69	傳 藏

## 今月の納税

(納期限は9月26日(日)です。忘れずにお納めください。)

国民健康保険税 3期分  
国民年金 9月分

## 健康増進普及月間

# 9月

自分の健康  
自分で守ろう

## ガン征圧月間

村のようす  
(6年8月1日現在)

- 1,732戸(+3)
- 7,678人(-3)
- 3,783人(+3)
- 3,895人(-6)



8月13日 玉川夏まつりにて



## くらしの情報

## 弁護士 司法書士 無料法律相談の開催 10月1日は「法の日」です

「法の日」週間を記念して福島県の弁護士会と司法書士会では次により、無料法律相談会をそれぞれ開催します。

### ①法の日記念無料法律相談

▶開催日時 10月5日(水) AM10時～PM3時  
▶開催場所 福島地方・家庭裁判所白河支部内弁護士控室  
詳しくは、福島県弁護士会(☎0245-34-2334)まで

### ②司法書士無料法律相談

▶相談内容 不動産の相続、売買、会社の設立、変更などの登記や、供託手続き、訴訟書類の作成など  
▶開催日時 10月5日(水) AM10時～PM3時  
▶開催場所 白河市中央公民館(白河市天神町)  
詳しくは、福島県司法書士会(☎0245-34-7502)まで

## 年 こんなとき種別の変更・金 確認の届出が必要です

結婚し、専業主婦としてサラリーマンの奥さん(被扶養配偶者)になった時は、国民年金第3号被保険者の届出が必要です。この届出は、将来年金を受けるためのものです。届出がされないと2年で時効となり、未納として扱われますので、将来年金を受けられない場合があります。

また、夫の転職の場合には、種別確認の届出、退職やパートなどで収入があり、被扶養配偶者でなくなった場合などには、種別変更の届出が必要です。もし、2年をこえて届出がされると、2年以上の分は未納となりますので忘れずに届出しましょう。

## 阿武隈川上流洪水氾濫危険区域図作成!

このほど、建設省ではコンピューターシミュレーションによる、阿武隈川上流の洪水氾濫危険区域図を作成しました。この図により、洪水氾濫によって浸水の可能性がある区域とその程度などを知ることができます。詳しくは役場建設課までお問い合わせください。

## 「標識は、心のかよう道しるべ」 道路標識週間 10/1～10/7

県民のみなさんに道路標識の重要性をPRし標識に対するご意見を寄せていただき、よりわかりやすい道路標識の整備に役立てていくことを目的として、全国的に展開されます。

▶標識BOX(標識意見箱)をご利用ください。

▶見づらい、わかりにくい標識に対するご意見を次の標識BOXにハガキ、封書でお寄せください。(県の建設事務所、土木事務所や各市町村には専用のハガキがありますので、ご利用ください)

詳しくは、県土木部標識BOX係☎0245-21-1111、建設省福島工事事務所標識BOX係☎0245-46-4331まで。

## 悩みや苦情はまず相談 秋の行政相談週間 10/16～10/22

行政相談委員は、住民の皆さんが困っていることや要望したいことの相談に応じ、その解決のお手伝いをします。内容は役所や公団・公庫、NTT、JRなどの仕事についてです。相談委員は、いつでも相談に応じていますが、期間中は次により相談所を開きます。

▶とき 平成6年10月18日  
▶ところ 役場北庁舎(午前9時～12時) 須釜公民館(午後1時30分～4時)  
※村の行政相談委員は首藤信勝さん(小高) ☎57-2507です。お気軽にご相談ください。

## 心豊かな長寿社会を考える 国民の集い 福島集會

県では、21世紀の高齢社会を考える「国民の集い」を総務庁と共に開催します。

▶日時 10月27日 13時～16時半  
▶場所 郡山ユラックス熱海  
▶内容 ①シンポジウム「高齢者の社会参加のために」樋口恵子氏(評論家)ほか3名 ②講演「私の福祉論」堀田力氏(弁護士) ③エイジレス・ライフ実践者紹介など

▶入場 無料  
▶問い合わせ先 県庁長寿社会対策室(☎0245-21-7277)

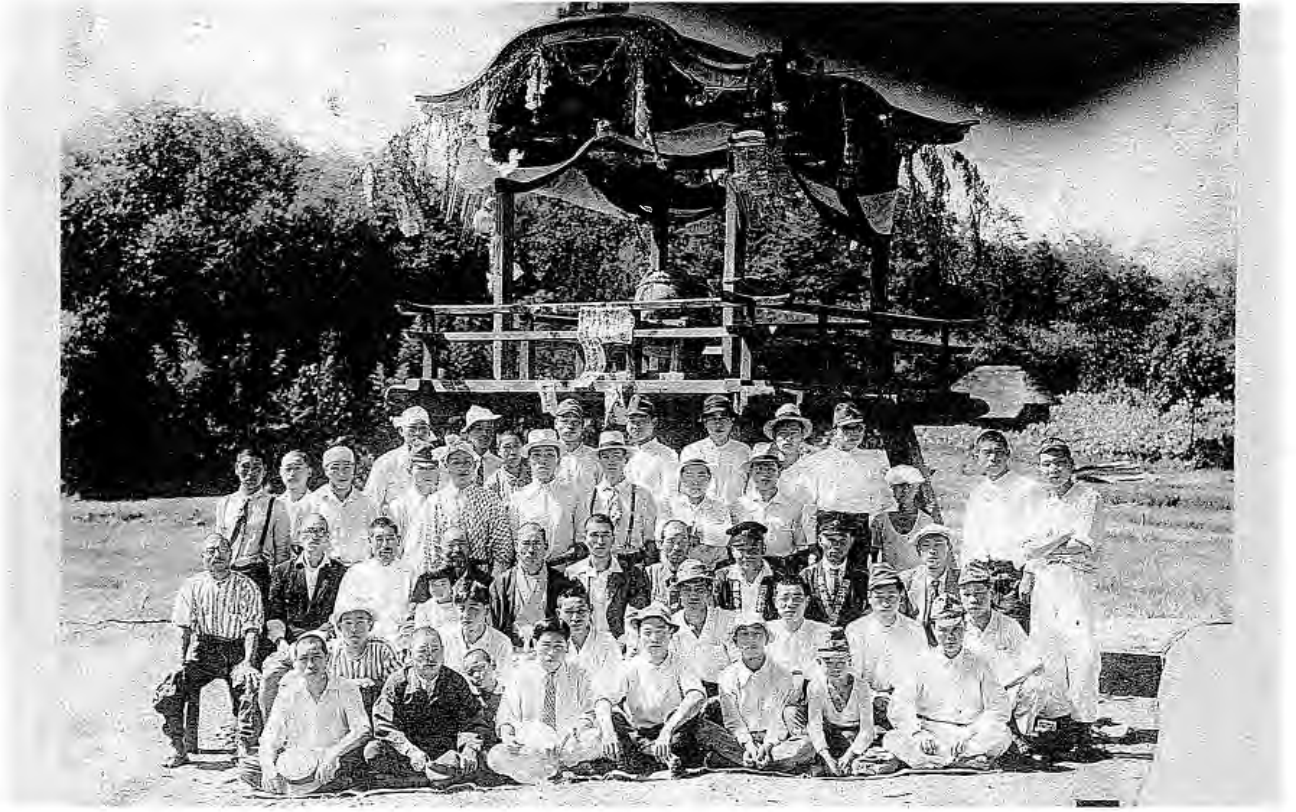
## 災害と税

地震、火災、風水害などの災害によって、住宅や家財などに損害を受けられた方は、被害額の程度に応じて、所得税などの国税が減額または免除されたり、あるいは申告・申請等の期限の延長や納税猶予ができることになっていきます。

所得税が減額される方法として次の二つがあります。

①雑損控除による方法  
②災害減免法による方法

この二つのうちどちらか有利な方法を選ぶことができます。国税の減免、あるいは期限の延長等を受けるためには、一定の手続きが必要となりますので、できるだけ早い機会に最寄りの税務署や税務相談室におたずねください。



思い出のアルバム⑮

「楽しみは盆踊り」

この写真は、昭和22年8月吉区の盆やぐらが改築完成した時の記念写真で、提供者の有賀勝さん(65歳・吉宅が49年に全焼した際「一枚だけ残った貴重な写真」だそうです。

「今から48年前前っていうと、終戦後何もない時代で、盆踊りしか楽しみつてなかったな。三城目(矢吹町)の方までも歩いて出かけたもんだ。やぐら改築ンときは、区の手で木を切つてみんなであついで運んだモンダ」と勝さん。写っている人たちは、その時の青年団員や区の役職の方たちで、中央の羽織姿の人は須釜勝太郎さん(87歳・当時の区長で、その右側に当時の青年団長の大和田重徳さん(69歳)、更にその右が、改築を請け負った大工で故鈴木浅吉さん(浅太郎さんの父)だそうです。前列中程にネクタイ姿の森儀秋さん、その右に境田孝意さんが写っています。「当時、団員は40人はいたな。今と違って女は入んネ。男だけ」と語る有賀さん。

新しいやぐらを前に、盆踊りへの期待でしょうか。何となく雰囲気が出るいですね。

たまかわの皆さん  
お元気ですか

—東京玉川会員だより—

「ふる里は美しい夕焼けの里」

神奈川県相模原市  
吉村勝夫さん(南須釜出身)



記録的な暑さが続いた夏も、近頃ようやく涼しい風が吹くようになりましたが、玉川村の皆様お元気でお過ごしでしょうか。

五月の東京玉川会総会では、多くの方々と、楽しい一時を過ごさせていただき、車田村長さんをはじめ有志の方々に心からお礼を申し上げます。

私は現在、住宅メーカーの工事を営んでおります。子供は男3人に女2人ですが、男女交互に生まれたので、秘けつは何ですか?とよく聞かれましたが私にもわかりません。上の4人はいつの間にか、もう成人しております。近くに、厚木基地があり、米軍機や自衛隊機が連日飛んでいます。福島に空港ができたのに、神奈川には空港がありません。いつの日か返還されて、空港と名をかえ、全国へ旅立てる日を夢みております。

故郷での少年時代は、夕焼けを見るのが好きでした。村の台地は東から西側へ低く、小高い丘へ登れば見晴らしのよい西の空から、那須の山々へ夕陽が沈む雄大な光景が見れます。この光景は他では見れません。昔も今も変わらない美しい夕焼けの見える場所が、故郷玉川村だと思っております。

来年もまた、東京玉川会での皆様との再会を楽しみにしております。最後に、玉川村の益々の御繁栄と、皆様の御健康を心からお祈り申し上げます。